

投稿日時：2008-1-24 11:57

### 主婦の会話

確定申告に向かって、あわただしい日々を送っています。

先ほどこのたび関与のお客様のところへ訪問していましたら、長年事務員をやっている中年のおばさまから質問がありました。

(事)「あの、話は違いますが、この前、井戸端会議してたら、パソコンで申告すると税金安くなるって人がいたんです。そんなことないですよね？」

(私)「いやいや、それがあるんですよ！！5000円安くなります。ただ、パソコンだけあれば良いと言うのではなく、インターネットにつないでいただかないと。それから、市役所の窓口へ行って電子証明書をもらっていただく。そして、その証明書を読み込むちょっとした機械が要るんです。」

(事)「めんどくさいんですね。でも、5000円は主婦にとって大きい。」

(私)「ぜひやりましょうよ。事務所でアドバイスしますから。」

(事)「うれしい～。これから毎年5000円安くなるんだ！」

(私)「いや、それが今年と来年でどちらか1回だけなんです。」

(事)「ええええ！それなら、あまり意味ないじゃない。やる気なくするわ。国ってケチね。」

(私)「ま、そうおっしゃらずに、今年やってみましょうよ。」

.....

と、その後、国の税金の使い方だとか、昨今の不正事件とか並べながら、主婦パワーが暴走するような話を30分ほど聞いてきました。

しかしながら、この意見、すべてごもつともであり、一般国民の感覚としてはまったく絶対多数の思いでしょうね。

少なくとも21年以降5000円控除は毎年継続すべきであるし、利用率が90%くらいまで継続すべきでしょうね。いっそのこと、全国民に住人基本カードの配布をして、公的個人認証も本人が拒否しない以上配布と言う形にすべきかと思います。そうなれば5000円控除をやめてもいい。

韓国はそういうインフラがあって、電子申告が普及しているわけです。なんだ

か、この5000円控除、根本的に本末転倒しているような話に感じられます。

少なくとも、市役所等の窓口の発行枚数も20枚/日がMAXだと言うことですし、実際10枚/日くらいしか出てないようですし、利用率向上には大きな成果にはならないのでしょうかね。

ただ、ひとつ言える事は、主婦の井戸端会議レベルにまで電子申告が浸透してきたということ。これは大きい。このところをうまく利用しないと。逆に、「2年に1度つきり」「電子証明書取得に1000円かかる」「インターネットの環境がある」「リーダーライターが」・・・などと言う、主婦層に対する期待裏切りの障壁が、やがて各方面への怒りにならなければいいと思う次第です。

みなさんの、巷で受けている感触はいかがでしょう？